授業科目	言語発達障害 I (援助法—基礎)				
担当者	井上直哉・川畑武義				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1年	総単位数	1 単位
导以(件)		開講時期	前期	選択·必修	必修

■ 授業目的・内容

対人援助職として仕事を進めていく上で必要な観察の視点・方法とそれらを言語化・文字化してまとめ、 実習日誌や報告書やカルテ等を通して伝えることを学ぶ。第1回~第8回までは、観察と記録の初歩的な 事項と、主に成人領域のVTR等を活用した講義と演習を実施する。第9回~第15回までは、小児領域の VTR等を活用した講義と演習を実施する。

■到達目標

臨床実習Ⅰの日誌作成を念頭に、基本的な行動観察や記述の視点・方法を習得する。

■授業計画

- 第1回 成人の観察と記録 概要及び視点について (井上)
- 第2回 成人の観察と記録 概要及び視点について模擬症例を用いたワーク(井上)
- 第3回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 1 個人ワーク (井上)
- 第4回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 1 グループワーク (井上)
- 第5回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 1 グループワーク発表と解説(井上)
- 第6回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 2 グループワーク (井上)
- 第7回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 2 グループワーク発表と解説 (井上)
- 第8回 成人の観察と記録 失語症患者様 VTR 3 個人ワーク (井上)
- 第9回 小児領域における観察及び評価の視点 (川畑)
- 第10回 小児の観察と記録 概要及び視点について模擬症例を用いたワーク (川畑)
- 第11回 小児の観察と記録 小児 VTR 1 個人ワーク (川畑)
- 第12回 小児の観察と記録 小児 VTR 1 グループワーク (川畑)
- 第13回 小児の観察と記録 小児 VTR 2 個人ワーク (川畑)
- 第14回 小児の観察と記録 小児 VTR 2 グループワーク (川畑)
- 第15回 小児の観察と記録 小児 VTR 3 個人ワーク (川畑)

■評価方法

井上担当分と川畑担当分合わせて100%とする。

井上担当分は提出物100%で評価する。

川畑担当分は提出物100%で評価する。

提出物の遅れや不備などについては減点対象(1回:-10点)とする。

授業への取り組みも考慮する(理由のない欠席-4点、理由のない遅刻/早退-2点、居眠り-1点)。

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

演習が多い講義内容となっています。講義内にて適宜、各自で取り組む課題を出す予定です。 教科書の該当部分によく目を通しておくこと。

■教科書

書 名:言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編

著者名:深浦順一・為数哲司・内山量史 編著

出版社:建帛社

書 名:言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編

著者名:深浦順一・内山千鶴子 編著

出版社:建帛社

■参考図書

■留意事項

不測の事態(災害等)が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、 講義支援システム(Moodle)を通じて周知する。